

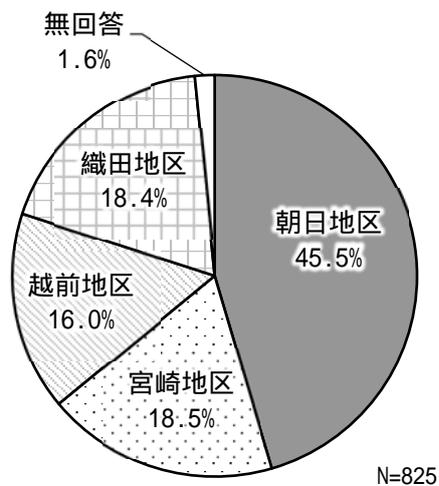
第2章 小学生 ニーズ調査結果

2 - 1 住まいの地域

問1：居住している地域

お住いの地区について尋ねた。

「朝日地区」が45.5%で最も高く、「宮崎地区」18.5%、「織田地区」18.4%、「越前地区」16.0%となっている。

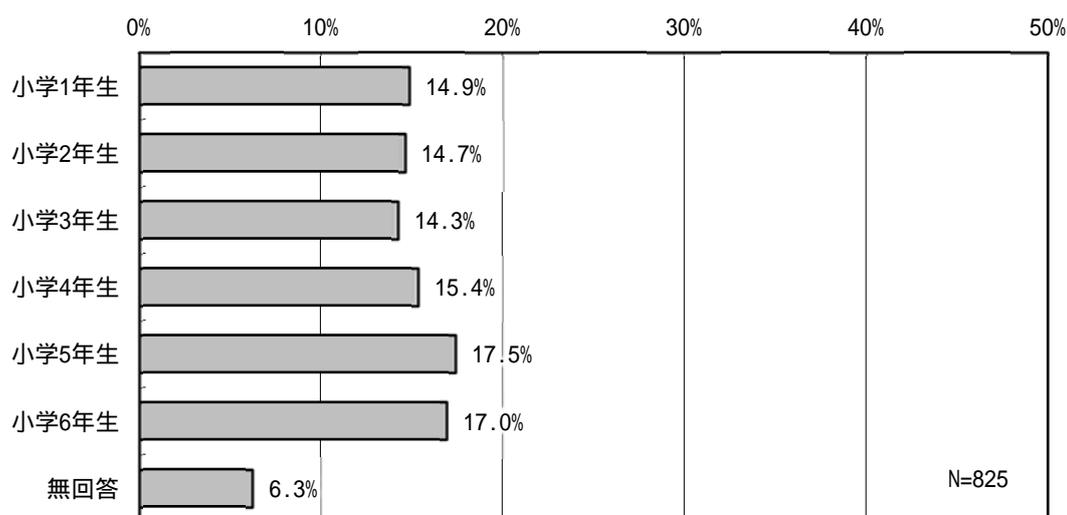


2 - 2 子どもと家族の状況

問2：子どもの生年月

調査対象児童の年齢を尋ねた。

「小学5年生（平成24年4月～平成25年3月）」が17.5%で最も高く、次いで「小学6年生（平成23年4月～平成24年3月）」17.0%、「小学4年生（平成25年4月～平成26年3月）」15.4%となっている。



問3：子ども全員の人数

調査対象児童のきょうだい数を尋ねた。

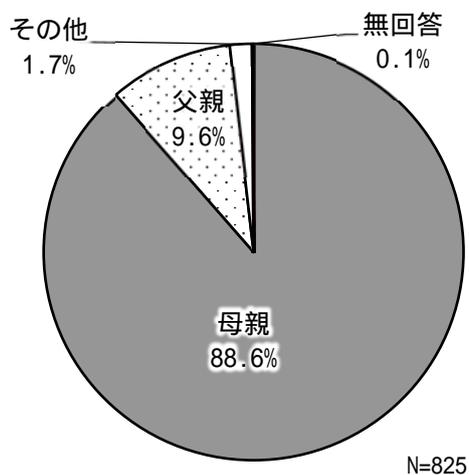
「2人」が39.8%で最も高く、次いで「3人」が39.0%、「1人」が11.4%となっている。



問4：回答者の続柄

調査対象児童と回答者の続柄を尋ねた。

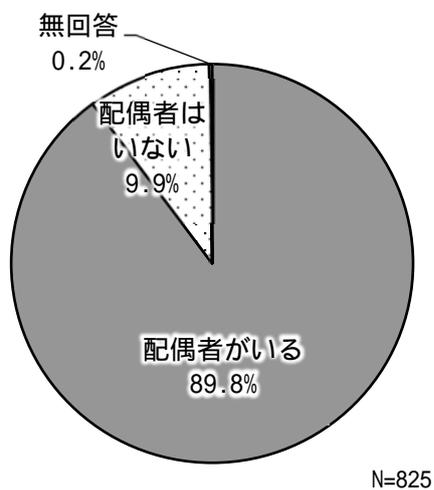
「母親」が88.6%で最も高く、次いで「父親」が9.6%となっている。



問5：回答者の配偶者の有無

回答者の配偶者の有無を尋ねた。

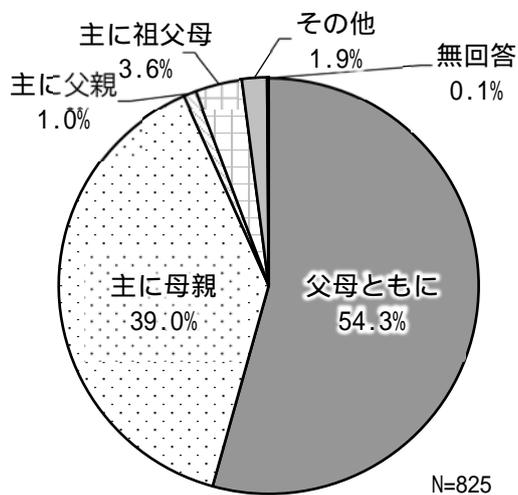
「配偶者がいる」が89.8%、「配偶者がいない」が9.9%となっている。



問6：主に子育てを行っている方

調査対象児童の子育てを主に行っている方を尋ねた。

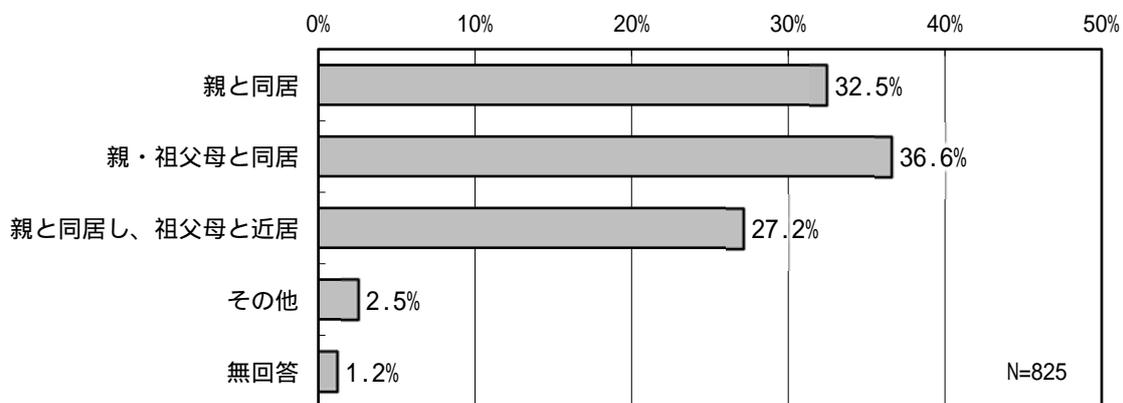
「父母ともに」が54.3%、「主に母親」が39.0%となっている。



問7：同居・近居の状況

家族の状況を尋ねた。

「親・祖父母と同居」が36.6%、「親と同居」が32.5%と続いている。

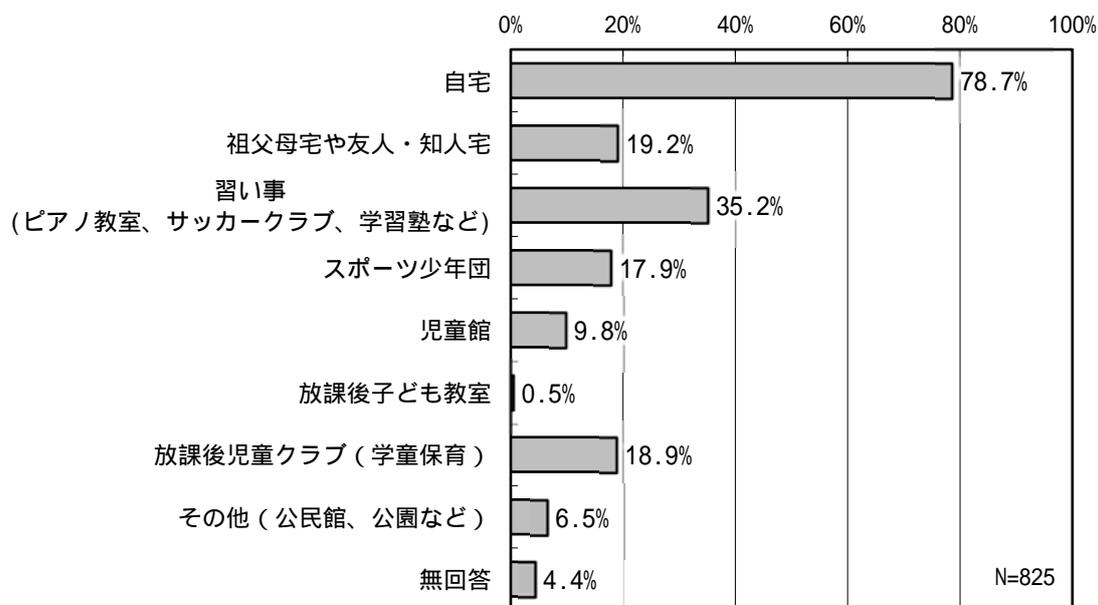


2 - 3 放課後の過ごし方について

問8：現在、放課後を過ごしている場所（複数回答）

調査対象児童が現在、放課後に過ごしている場所を尋ねた。

「自宅」が78.7%で最も高く、次いで「習い事」が35.2%となっている。



場所別の日数

問8のそれぞれの場所での日数を尋ねた。

自宅

「週5日」が288人(44.4%)で最も高く、次いで「週3日」が83人(12.8%)となっている。

祖父母宅や友人・知人宅の日数

「週1日」が55人(34.8%)で最も高く、次いで「週2日」が43人(27.2%)となっている。

習い事

「週1日」が146人(50.3%)で最も高く、次いで「週2日」が96人(33.1%)、「週3日」が28人(9.7%)となっている。

スポーツ少年団

「週3日」が68人(45.9%)で最も高く、次いで「週2日」が51人(34.5%)、「週4日」と「週5日」が11人(7.4%)となっている。

児童館

「週2日」が23人(28.4%)で最も高く、次いで「週5日」が19人(23.5%)、「週3日」が14人(17.3%)となっている。

放課後子ども教室

「週1日」が3人(75.0%)で最も高く、次いで「週5日」が1人(25.0%)となっている。

放課後児童クラブ(学童保育)

「週5日」が48人(30.8%)で最も高く、次いで「週4日」が33人(21.2%)、「週3日」が30人(19.2%)となっている。

終了時刻は、「17時台」が77人(49.4%)で最も多く、次いで「18時台」が56人(35.9%)、「16時台」が15人(9.6%)となっている。

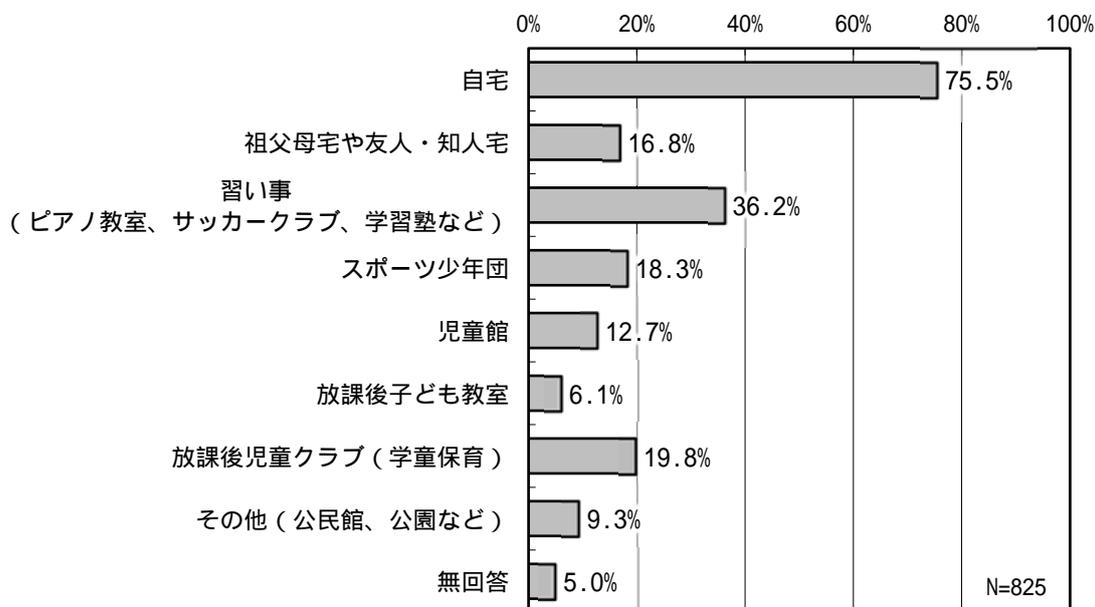
その他(公民館、公園など)

「週1日」が16人(29.6%)で最も高く、次いで「週2日」が14人(25.9%)、「週4日」が9人(16.7%)となっている。

問9：今後、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）

調査対象児童を今後、放課後に過ごさせたい場所を尋ねた。

「自宅」が75.5%で最も高く、次いで「習い事」が36.2%となっている。



場所別の希望日数

問9で「希望する場所」を回答した方に、それぞれの場所での希望日数を尋ねた。

自宅

「週5日」が241人(38.7%)で最も多く、次いで「週3日」が104人(16.7%)、「週2日」が95人(15.2%)となっている。

祖父母宅や友人・知人宅

「週1日」が46人(33.1%)で最も多く、次いで「週2日」が44人(31.7%)、「週5日」が25人(18.0%)となっている。

習い事

「週1日」が127人(42.5%)で最も多く、次いで「週2日」が123人(41.1%)、「週3日」が31人(10.4%)となっている。

スポーツ少年団

「週3日」が71人(47.0%)で最も多く、次いで「週2日」が44人(29.1%)、「週1日」が13人(8.6%)となっている。

児童館

「週2日」が29人(27.6%)で最も多く、次いで「週3日」が24人(22.9%)、「週1日」が21人(20.0%)となっている。

放課後子ども教室

「週2日」が24人(48.0%)で最も多く、次いで「週1日」が17人(34.0%)、「週5日」が3人(6.0%)となっている。

放課後児童クラブ(学童保育)

「週5日」が49人(30.1%)で最も多く、次いで「週2日」が37人(22.2%)、「週3日」が31人(19.0%)となっている。

終了時刻は、「17時台」が68人(41.7%)で最も多く、次いで「18時台」が67人(41.1%)、「16時台」が10人(6.1%)となっている。

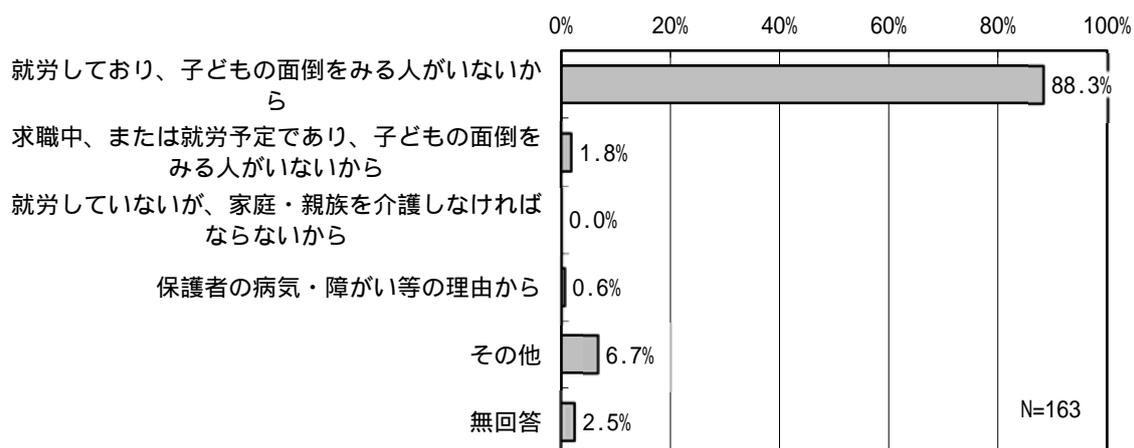
その他(公民館、公園など)

「週2日」が26人(33.8%)で最も多く、次いで「週1日」が21人(27.3%)、「週3日」が11人(14.3%)となっている。

問 10：放課後児童クラブについて 利用希望の理由

問 9 で「放課後児童クラブの利用を希望する」と回答した方に、利用希望理由を尋ねた。

「就労しており、子どもの面倒をみる人がいないから」が 88.3%で最も高くなっている。

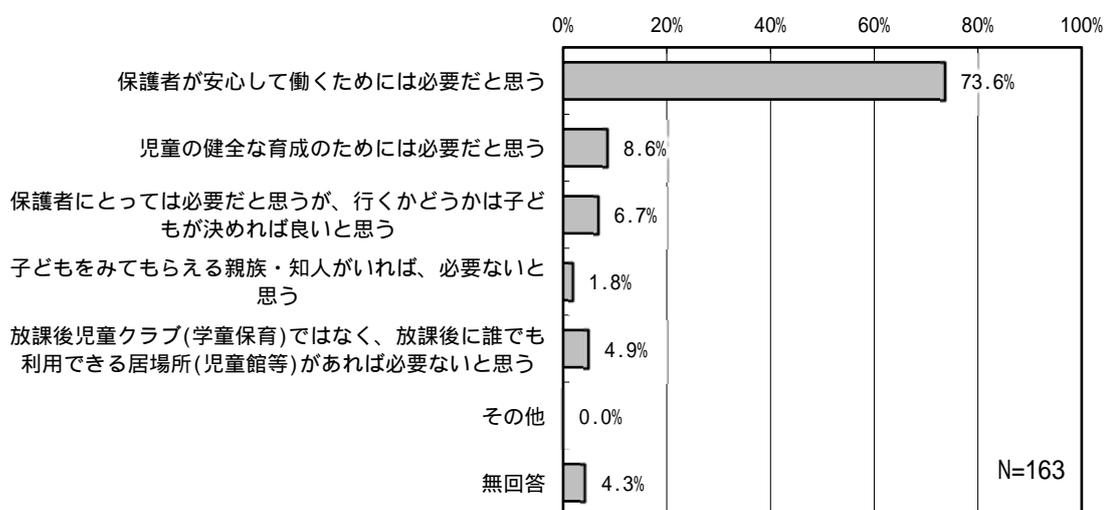


問 11：小学校低学年の子どもに放課後児童クラブは必要か

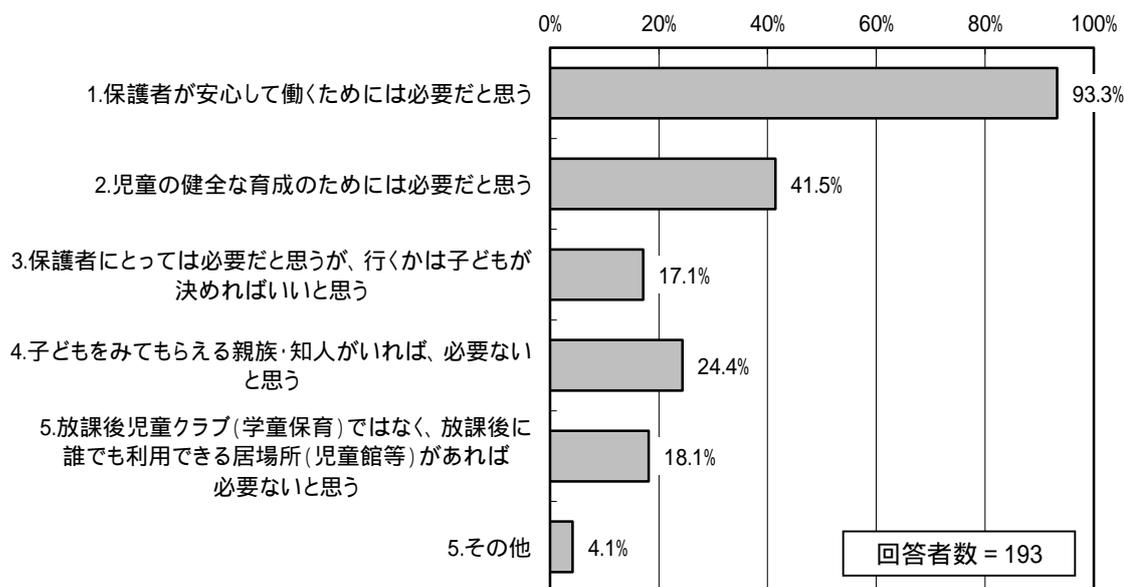
問9で「放課後児童クラブの利用を希望する」と回答した方に、小学校低学年の放課後児童クラブの必要性を尋ねた。

「保護者が安心して働くためには必要だと思う」が 73.6%で最も高く、次いで「児童の健全な育成のためには必要だと思う」が 8.6%となっている。

平成 30 年度調査結果と比べると、「その他」を除くどの選択肢も 10 ポイント以上減少している。特に「児童の健全な育成のためには必要だと思う」は約 33 ポイント減少している。



【平成 30 年度調査結果】

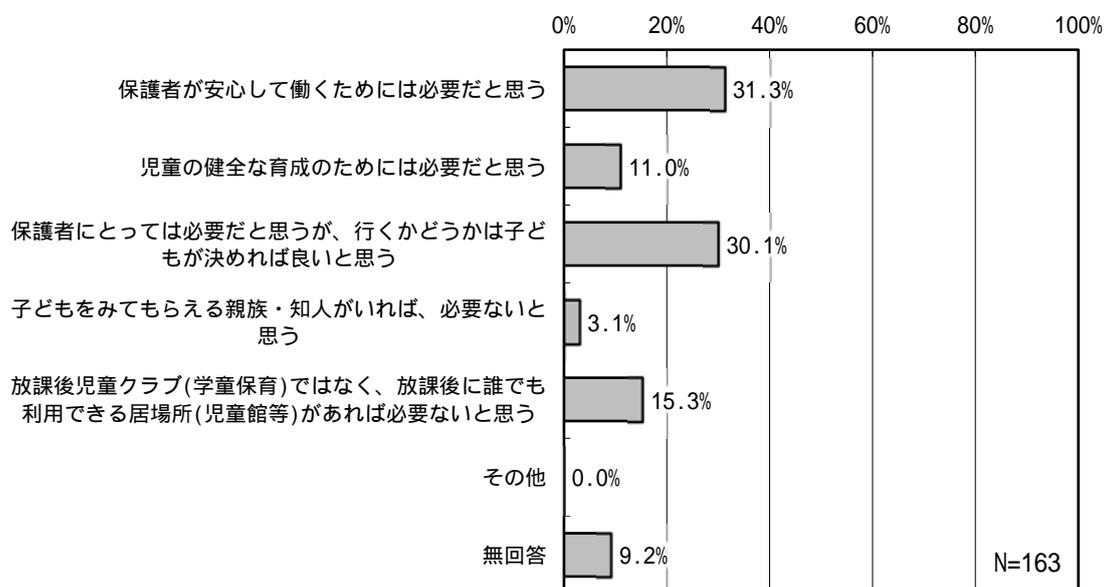


問 12：小学校高学年の子どもに放課後児童クラブは必要か

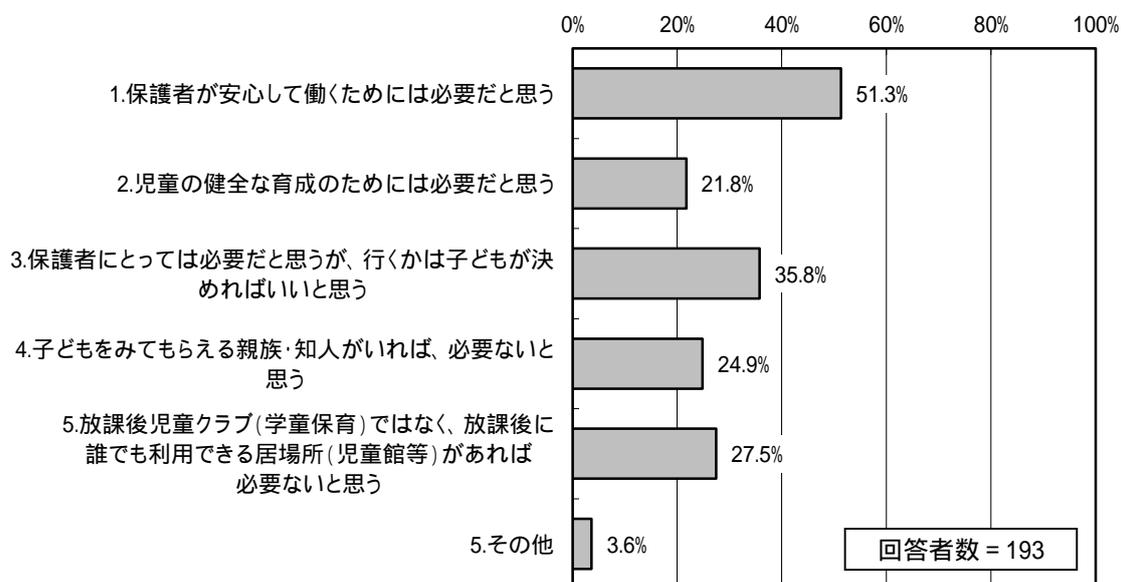
問9で「放課後児童クラブの利用を希望する」と回答した方に、小学校高学年の放課後児童クラブの必要性を尋ねた。

「保護者が安心して働くためには必要だと思う」が 31.3%で最も高く、次いで「保護者にとっては必要だと思うが、行くかは子どもが決めれば良いと思う」が 30.1%となっている。

平成 30 年度調査結果と比べると、「保護者にとっては必要だと思うが、行くかは子どもが決めれば良いと思う」と「その他」を除くどの選択肢も 10 ポイント以上減少している。



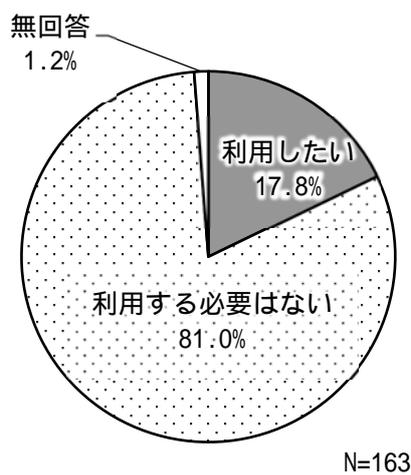
【平成 30 年度調査結果】



問 13 : 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問 9 で「放課後児童クラブの利用を希望する」と回答した方に、土曜日の放課後児童クラブの利用希望を尋ねた。

「利用したい」が 17.8%、「利用する必要はない」が 81.0%となっている。



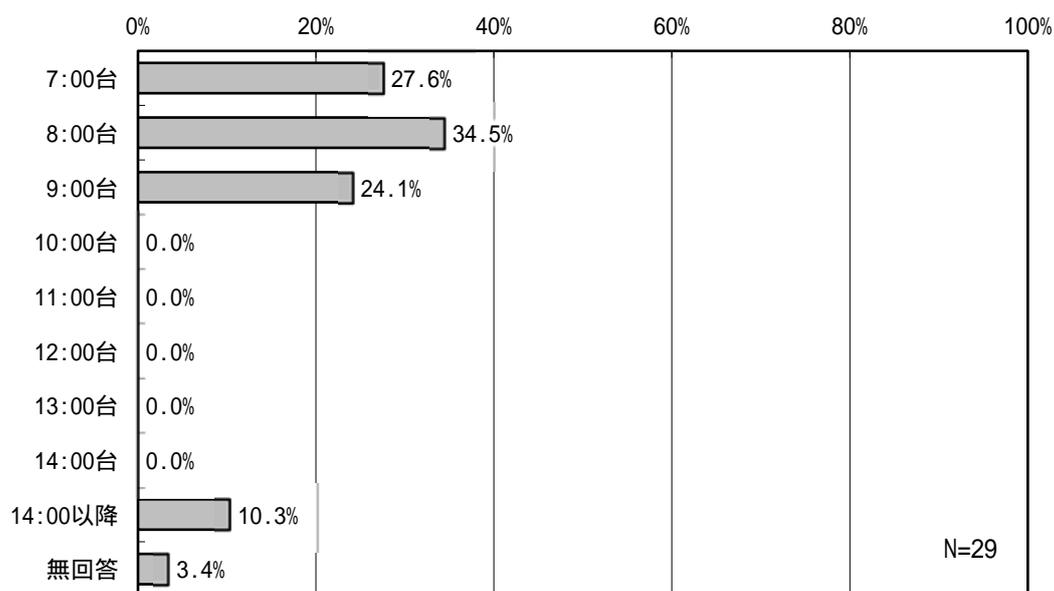
利用したい時間帯

問 13 で「利用したい」と回答した方に、利用したい時間帯を尋ねた。

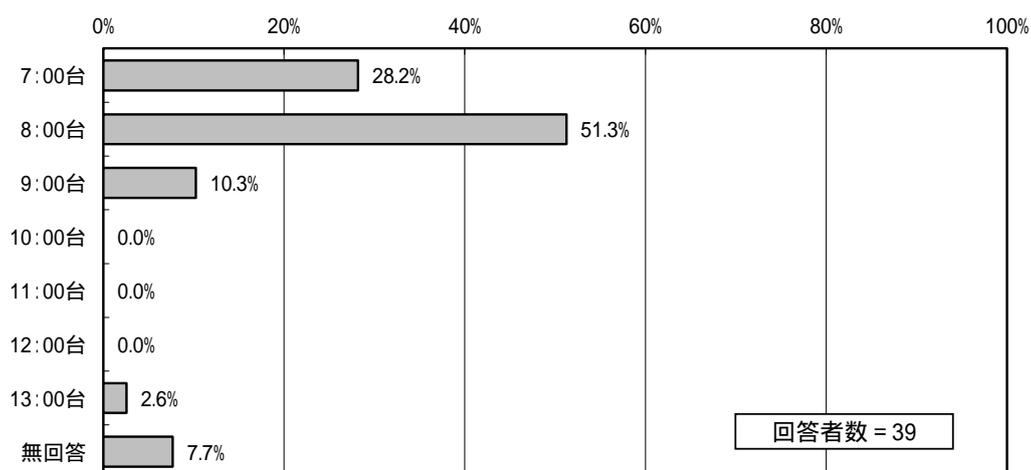
利用したい時間帯(開始時刻)

「8時台」が10人(34.5%)で最も多く、次いで「7時台」が8人(27.6%)、「9時台」が7人(24.1%)となっている。

平成30年度調査結果と比べると、「9時台」が約14ポイント増加する一方で、「8時台」が約17ポイント減少している。



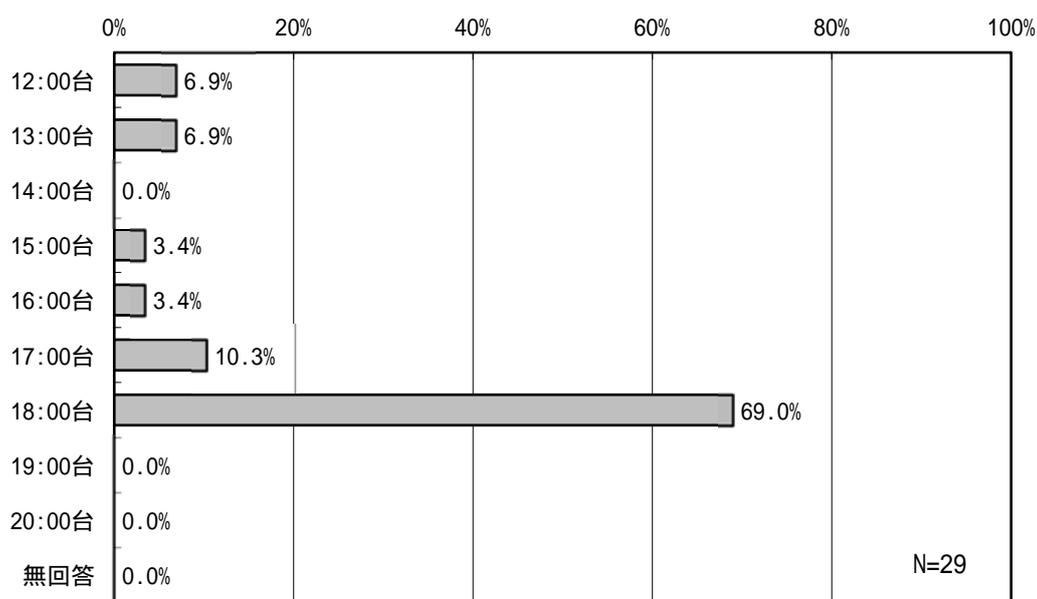
【平成30年度調査結果】



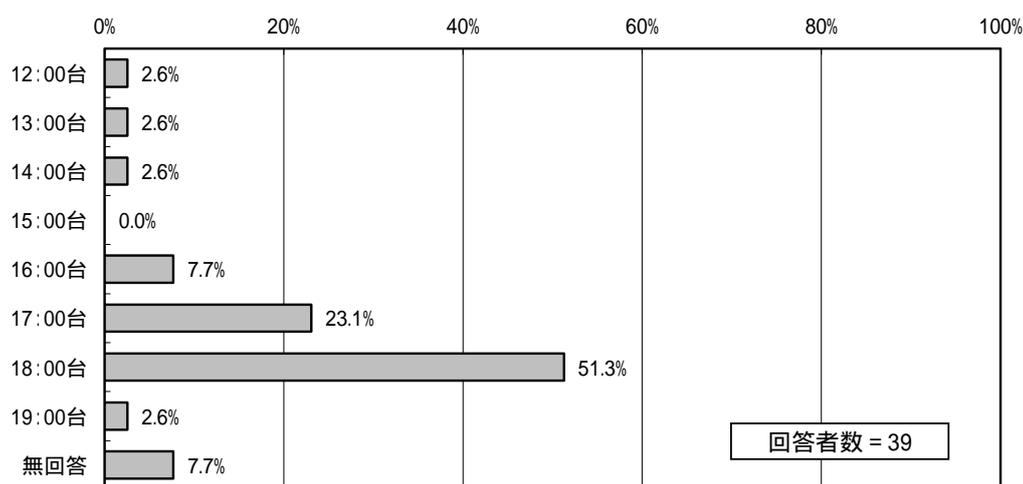
利用したい時間帯(終了時刻)

「18 時台」が 20 人(69.0%)で最も多く、次いで「17 時台」が 3 人(10.3%)となっている。

平成 30 年度調査結果と比べると、「18 時台」が約 18 ポイント増加する一方で、「17 時台」が約 13 ポイント減少している。



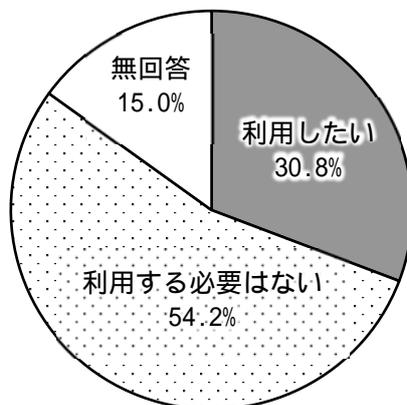
【平成 30 年度調査結果】



問 14：長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

夏休みや冬休みなど長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望を尋ねた。

「利用したい」が30.8%、「利用する必要はない」が54.2%となっている。



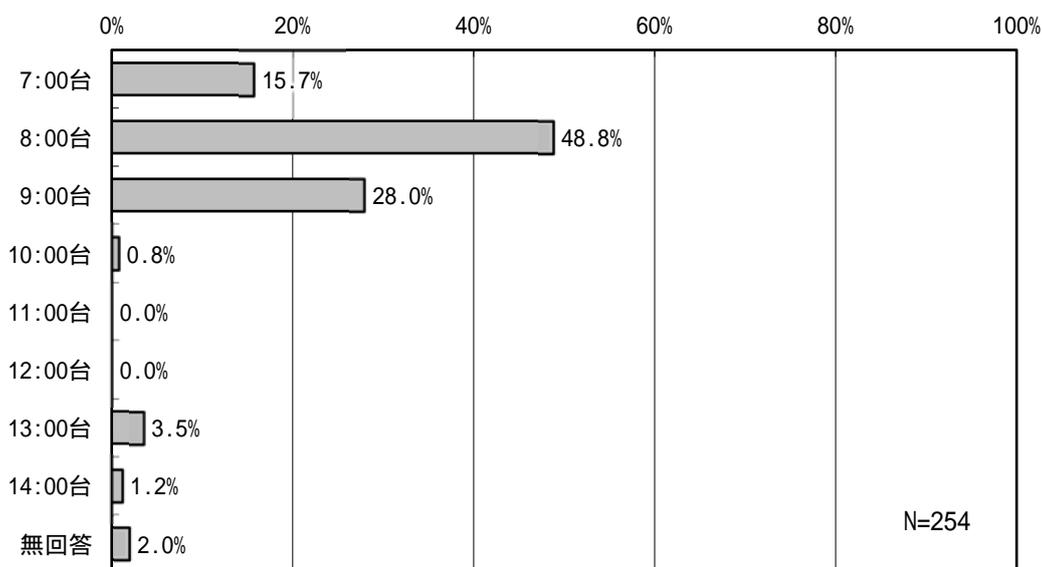
N=825

利用したい時間帯

問 14 で「利用したい」と回答した方に、利用したい時間帯を尋ねた。

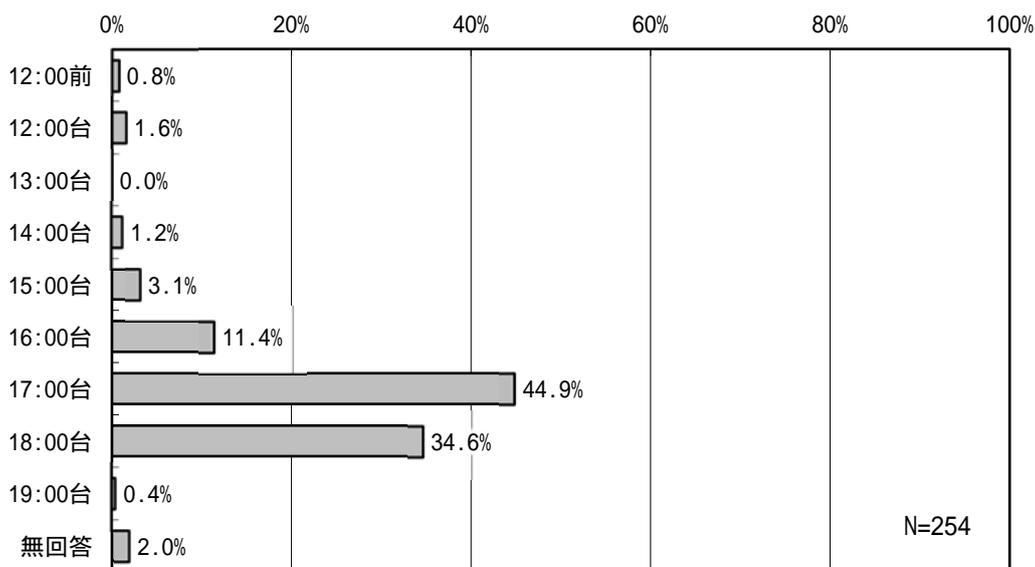
利用したい時間帯(開始時刻)

「8時台」が124人(48.8%)で最も多く、次いで「9時台」が71人(28.0%)となっている。



利用したい時間帯(終了時刻)

「17時台」が114人(44.9%)で最も多く、次いで「18時台」が88人(34.6%)となっている。



問 15: 子どもの放課後児童クラブの利用にあたり希望や悩みについての意見(自由意見)

(1) 児童館・放課後児童クラブについて(41件)

- 児童館・放課後児童クラブでのグループ分けや利用方法に不満をもつ意見、子ども同士のトラブル、スペース不足を心配する意見などがみられる。
 - ・児童館へ遊びに行くことを楽しみにしているので、カバン型の児童館利用のお友達と児童クラブ利用のお友達は部屋が違うので遊べないと聞いたので、分けなくて遊べるようにしてほしいです。あと、カバン型は利用料がかからないのなら、児童クラブも利用料の負担を減らしてほしいです。
 - ・夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中において、児童館はスペースが狭すぎて子供達のがびのがび過ごせないと思う。コミュニティーセンターの体育館も使えるようにするなどの対応が必要だと思う。
- 要望として、家ではできない体験や学習時間の確保、障がいを持つ子どもとの交流を望む意見がある。
 - ・家では体験できないような事をさせて欲しい。
 - ・専門の先生を配置して学習面のフォローを手厚くできる体制があると良いなと思います。
 - ・障がいを持つ子供も障がいを持たない子供も楽しく過ごせる場所になるといいと思います。

(2) 利用料金、利用時間、利用方法等について(40件)

- 利用料金の不満が多く、利用料の無償化やチケット制を求める意見がみられる。
 - ・夏休み等の長期休みの使用料金がかかるのは理解できるが、放課後児童クラブ利用は地区によって料金がかかる所とかからない所があるのは差別であり不満である。
 - ・利用料金がかかれば利用したい。英語や習字、そろばんなど何か習い事も一緒に兼ねるといいと思う。その場合は利用料かかってもいいと思う。
 - ・利用料金を1日ごとか、チケット制などになるとありがたいです。例えば利用料金が1日違いで倍になることがあるので(例)10日までは2,000円、11日からは4,000円。
- 利用時間の延長や高学年の利用、利用制限の緩和が求められている。
 - ・会社に勤めているため、18時までという時間ではそこにいくまでの距離を考えると難しい時がある。宮崎は範囲が広いので、自宅からそこにいくまでに15分かかってしまう+会社までの時間をみると18時半までにしてほしいと思うことがある。これから雪道になると本当にそう思う。
 - ・年齢が上がってくると無言の圧力というか、まだ利用されるんですかというような感じで対応される。上の子の時もそうだった。館長がかわっても毎回いやな思いをします。大きくなっても家に一人で留守番させるのは心配ということを知ってもらえていない。
- 給食の実施が望まれている。
 - ・利用時間、18時までを19時までにしてほしい。通勤時間を考慮すると迎えに行くのはどうしても18時半頃になってしまい、延長料金がかかってしまっている。また、長期休暇中、給食や配食サービスなどがあって欲しい。

(3) その他(12件)

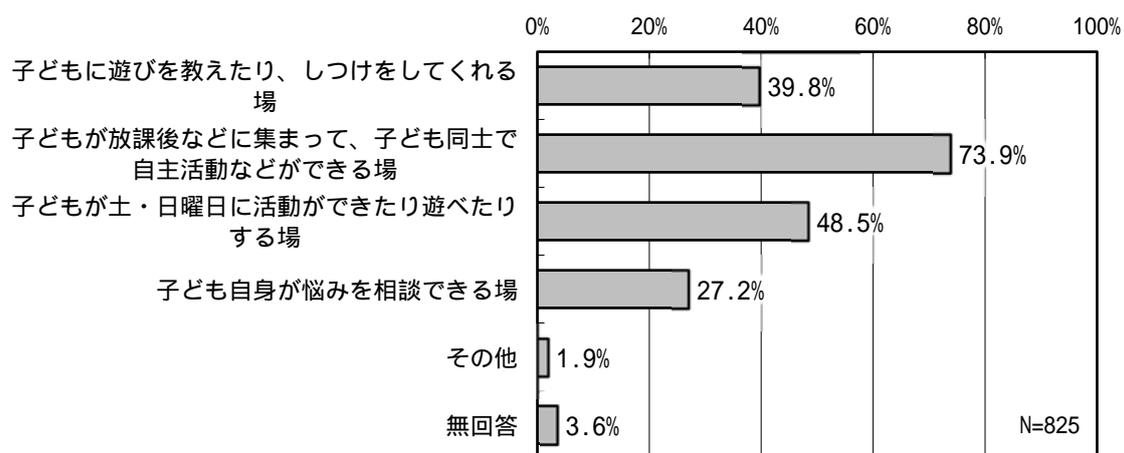
- 放課後児童クラブへの感謝を伝える意見がある。
 - ・夏休みに利用させていただきました。日中は仕事に専念することができたので、とても助かりました。
 - ・現状で大変満足しています。先生方の子どもに対する接し方など。

2 - 4 子どもの居場所について

問 16 : 交流の場として望ましい内容 (複数回答)

子ども同士が交流できる場に望ましい内容を尋ねた。

「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が73.9%で最も高く、次いで「子どもが土・日曜日に活動ができたり遊べたりする場」が48.5%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」が39.8%となっている。

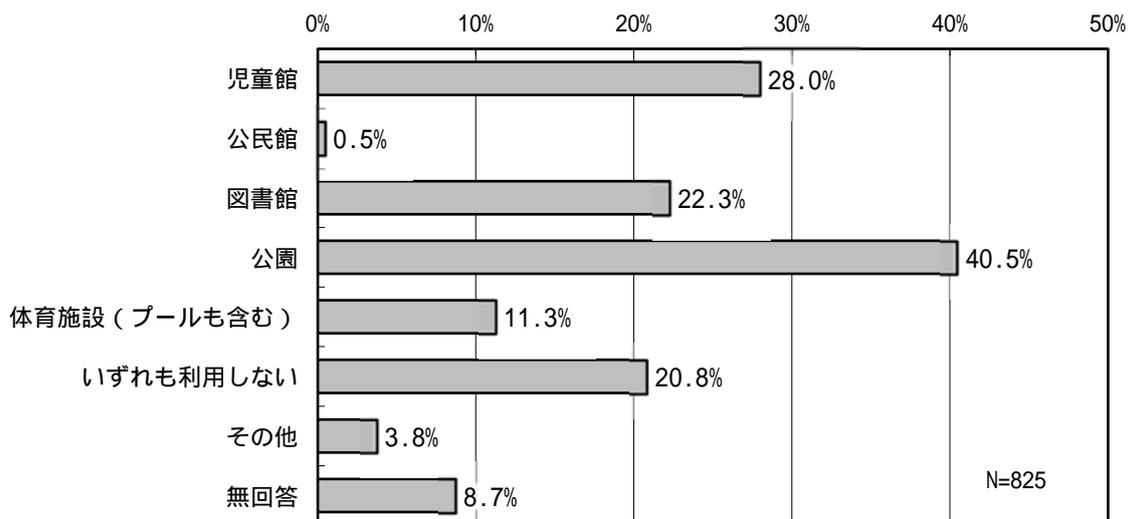


問 17：子どもがよく利用する公共施設（複数回答）

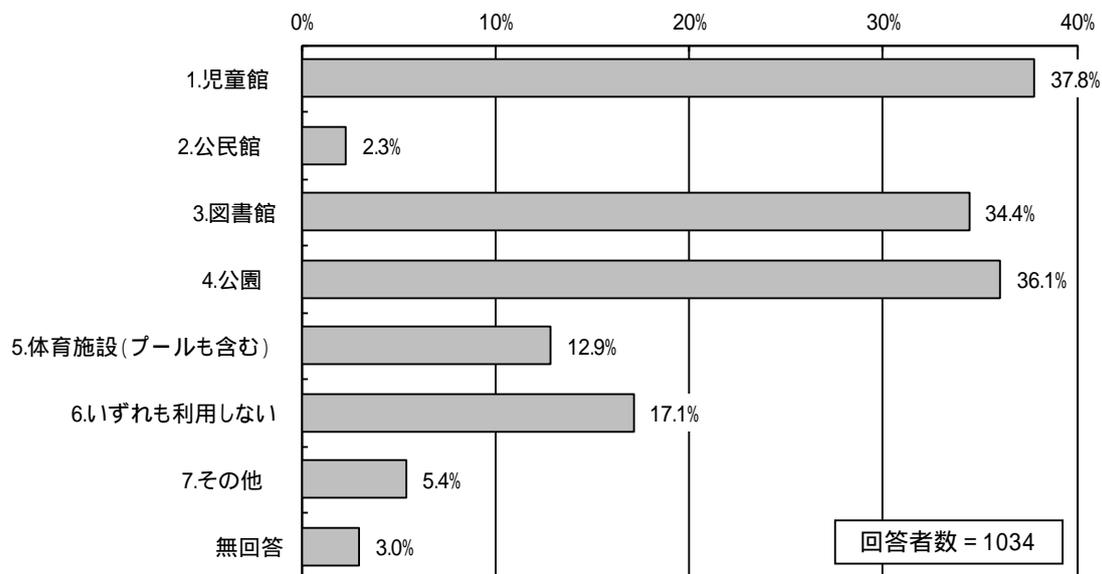
調査対象児童がよく利用する公共施設を尋ねた。

「公園」が最も高く 40.5%、次いで「児童館」が 28.0%、「図書館」が 22.3%の順になっている。

平成 30 年度調査結果と比べると、「児童館」と「図書館」の割合が減少している。



【平成 30 年度調査結果】

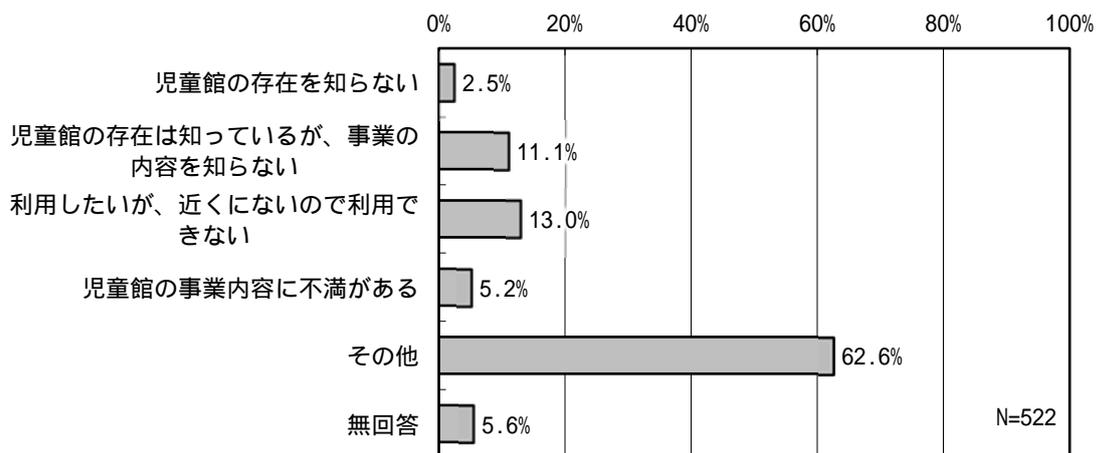


問 18：児童館を利用しない理由

問 17 で「児童館」以外を回答した方に、児童館を利用しない理由を尋ねた。

「その他」が最も高く 62.6%、次いで「利用したいが、近くにないので利用できない」が 13.0%となっている。

「その他」の意見としては、『子どもが行きたがらない』、『利用する必要がない』、『祖父母が見てくれる』、『家族が家にいる』などがあげられた。

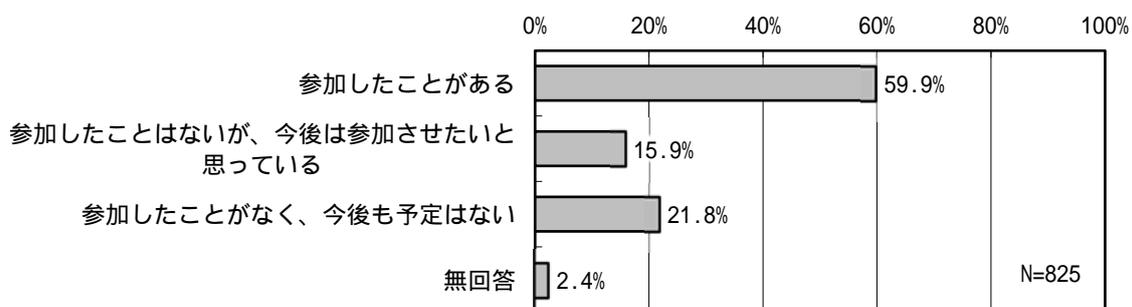


2 - 5 地域活動への参加状況

問 19：地域活動への参加の有無

地域活動やグループ活動への参加状況を尋ねた。

「参加したことがある」が 59.9%、「参加したことがなく、今後も予定はない」が 21.8%となっている。

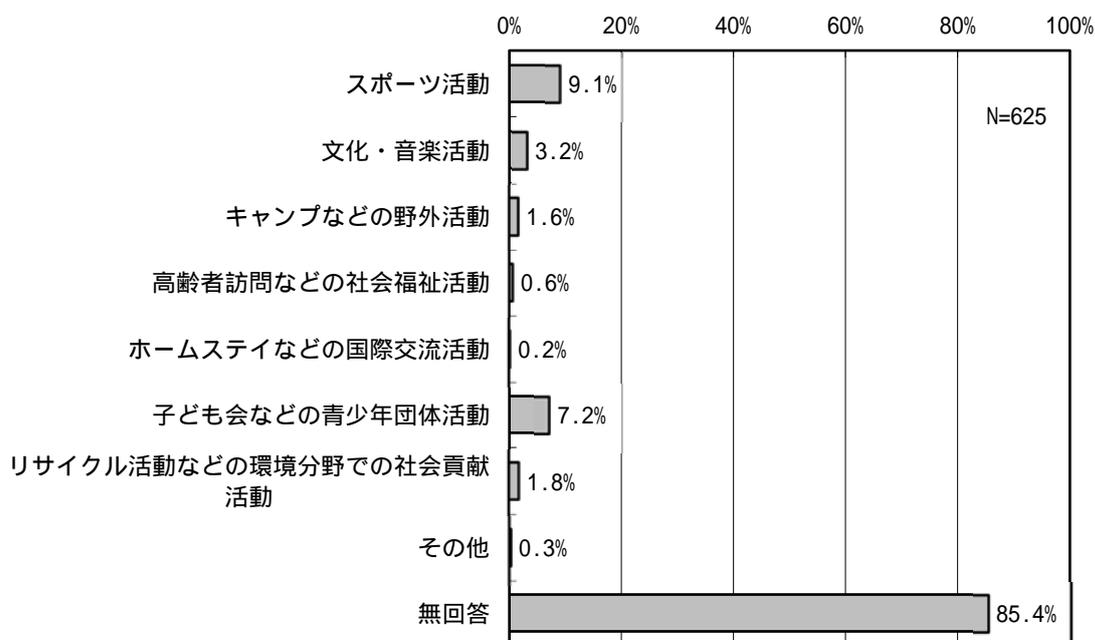


問 20：参加したい活動（3つまで）

問 19で「参加したことがある」、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した方に、参加したことがある活動、今後参加させたい活動を尋ねた。

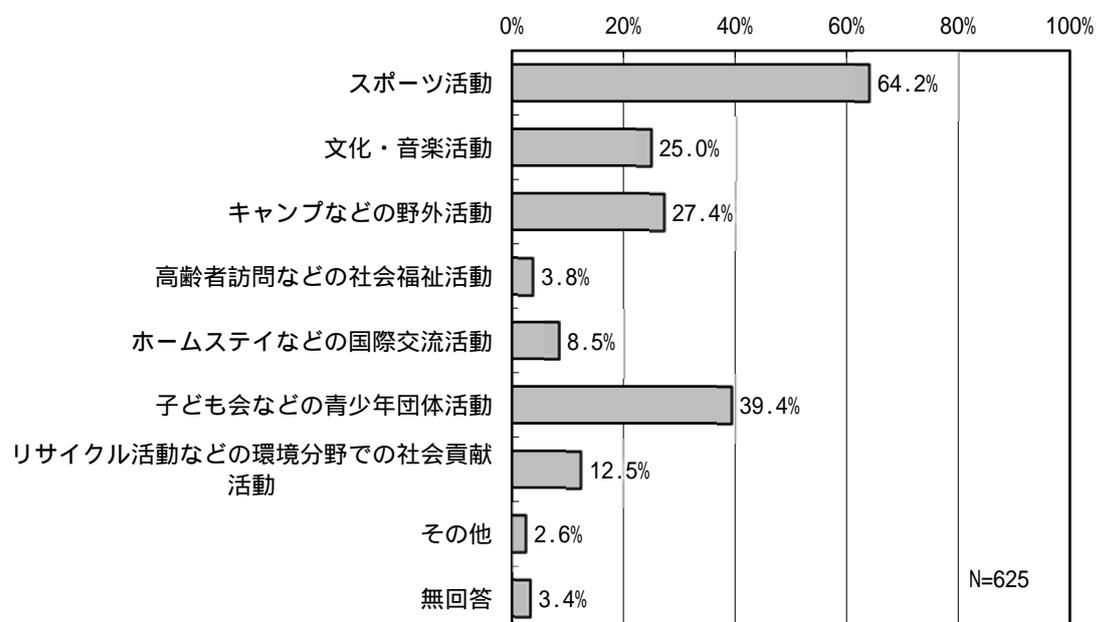
参加したことがある活動

「スポーツ活動」が最も高く 9.1%、次いで「子供会などの青少年団体活動」が 7.2%、「文化・音楽活動」が 3.2%となっている。



今後参加させたい活動

「スポーツ活動」が64.2%で最も高く、次いで「子供会などの青少年団体活動」39.4%、「キャンプなどの野外活動」27.4%となった。



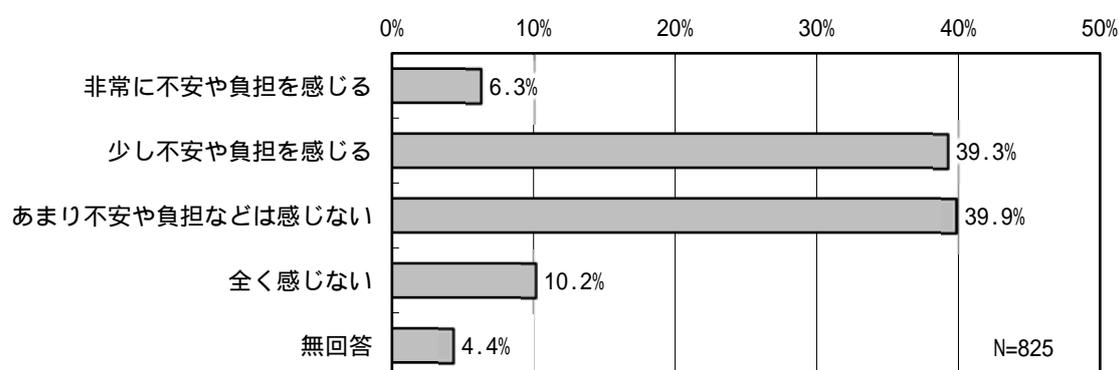
2 - 6 悩みや不安について

問 21：子育てに関する不安感や負担感

子育てに関する不安感や負担感の有無を尋ねた。

「あまり不安や負担などは感じない」が 39.9%で最も高く、次いで「少し不安や負担を感じる」が 39.3%となっている。

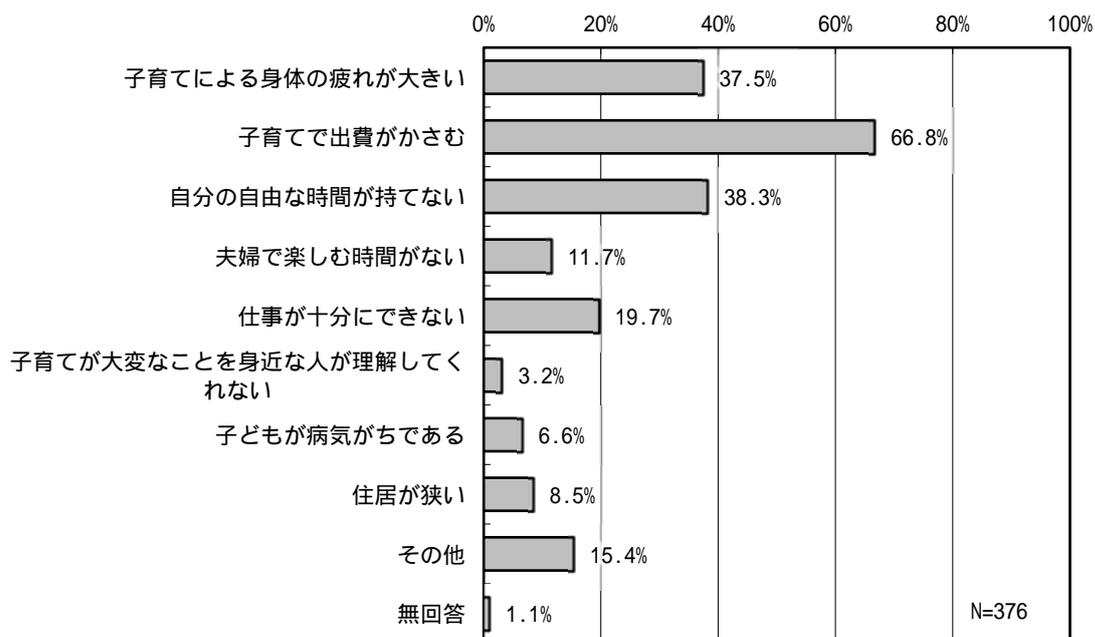
『不安や負担を感じる（「非常に不安や負担を感じる」と「少し不安や負担を感じる」の合計）』は 45.6%となっており、『不安や負担は感じない（「全く感じない」と「あまり不安や負担などは感じない」の合計）』は 50.1%となっている。



問 22：子育てに関して特に不安に思っていること、悩んでいること（複数回答）

問 21 で「非常に不安や負担を感じる」、「少し不安や負担を感じる」と回答した方に、その内容を尋ねた。

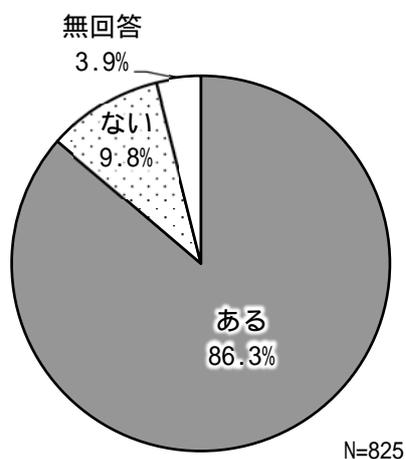
「子育てで出費がかさむ」が 66.8%で最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が 38.3%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が 37.5%となっている。



問 23：子育ての相談先の有無

子育てについて、気軽な相談先の有無を尋ねた。

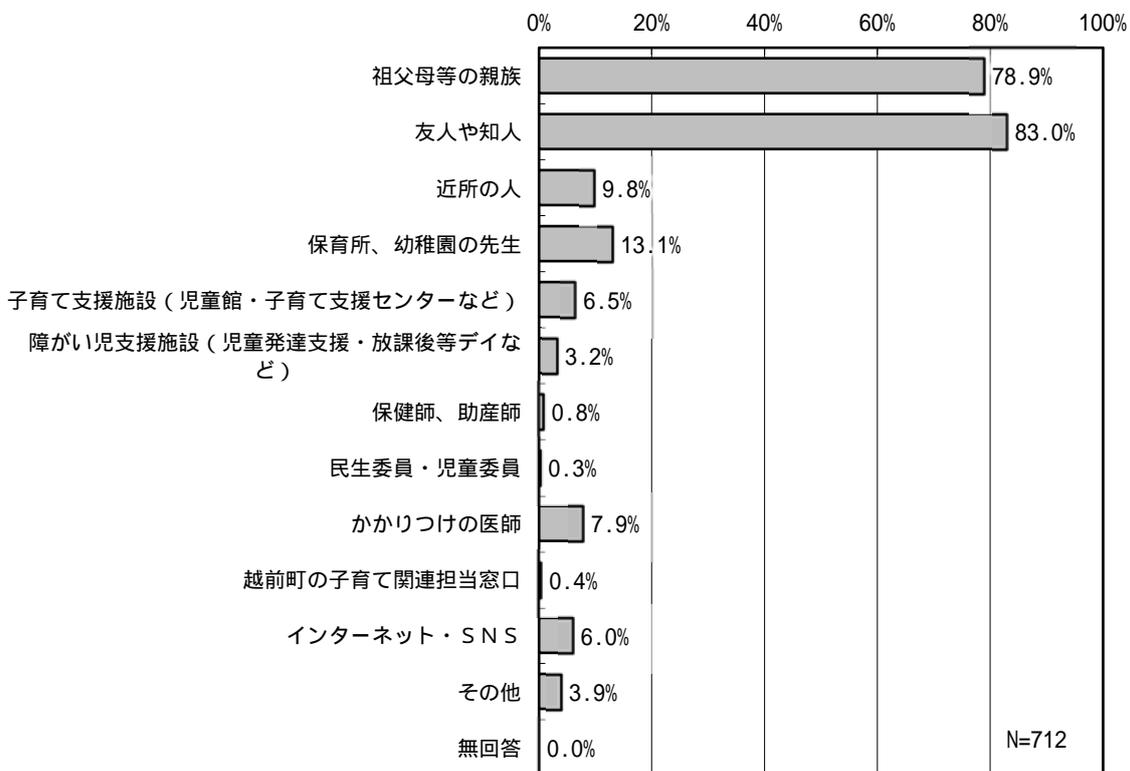
「ある」が86.3%、「ない」が9.8%となっている。



問 23：子育ての相談先（複数回答）

問 22 で子育てに関して気軽に相談できる先が「ある」と回答した方に、具体的な相談先を尋ねた。

「友人や知人」が最も高く 83.0%、次いで「祖父母等の親族」が78.9%となっている。

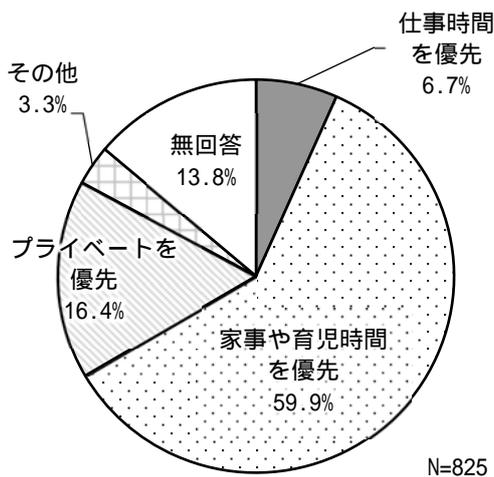


問 24 : 仕事・家事(育児)・プライベートの優先度 (希望・現実)

希望と現実において、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベート」の優先度を尋ねた。

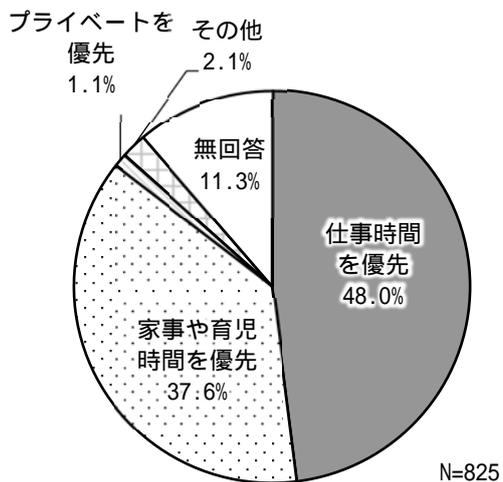
希望する仕事・家事(育児)・プライベートの優先度

「家事や育児時間を優先」が 59.9%で最も高くなっている。



現実の仕事・家事(育児)・プライベートの優先度

「仕事時間を優先」が 48.0%で最も高くなっている。

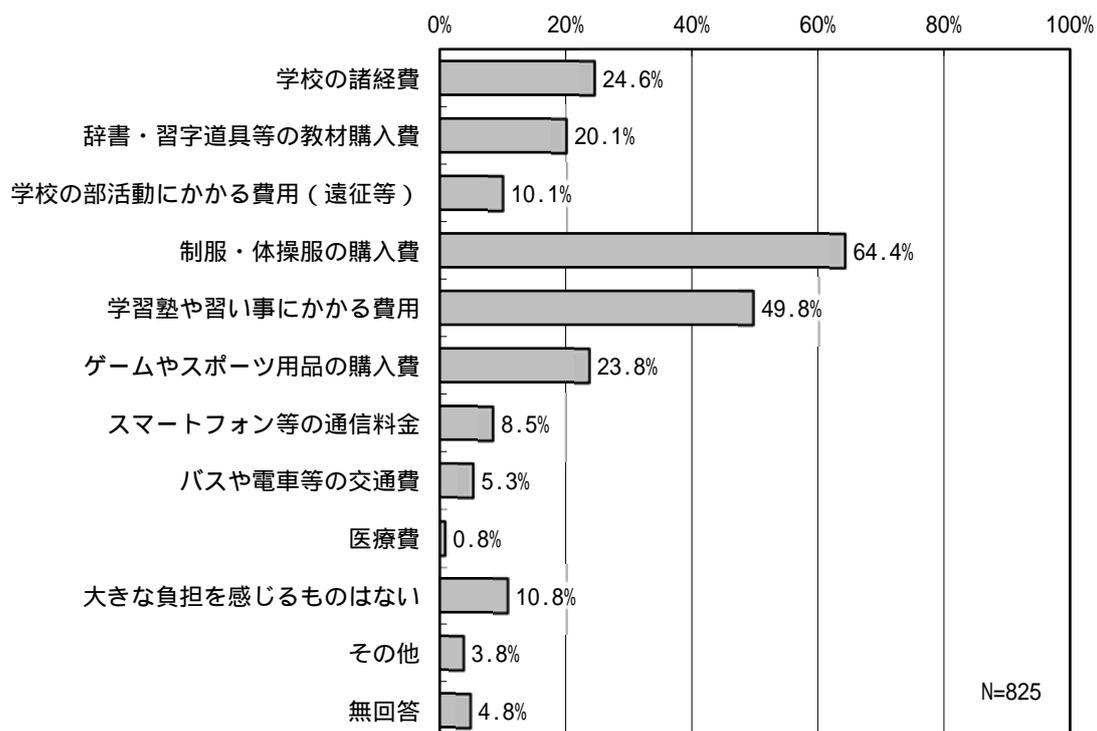


2 - 7 生活実態や家計の状況

問 25：経済的に負担大の子供にかかる費用（複数回答）

子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何か尋ねた。

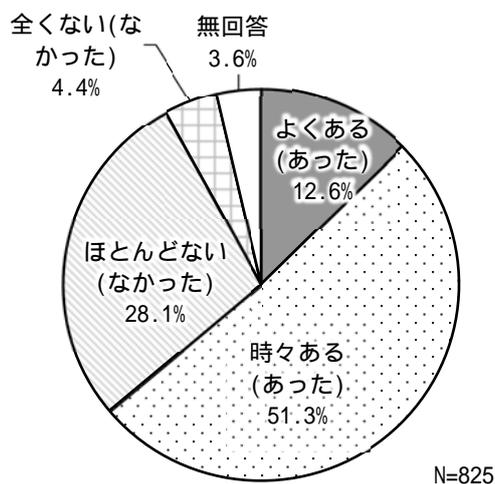
「制服・体操服の購入費」が 64.4%で最も高く、次いで「学習塾や習い事にかかる費用」が 49.8%となっている。



問 26：子どもに対しての接し方

子どもに対して必要以上の厳しきで接していないか尋ねた。

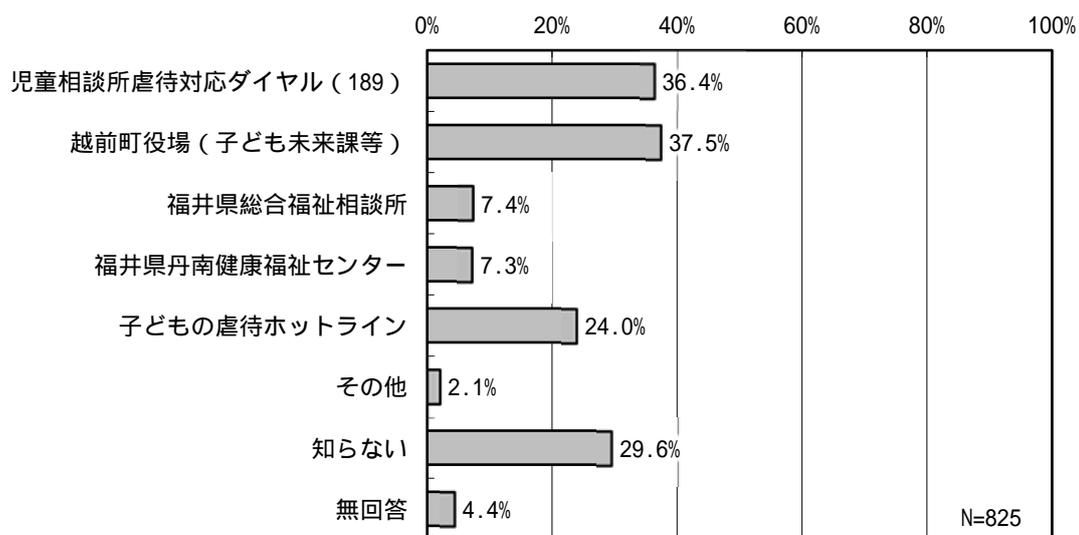
「時々ある(あった)」が 51.3%で最も高く、次いで「ほとんどない(なかった)」が 28.1%、「よくある(あった)」が 12.6%となっている。



問 27：虐待に関する相談先の認知（複数回答）

自身が子供を虐待したり、周りで起きた虐待を発見したときの通告先や、子育て・親子関係に関する相談先を知っているか尋ねた。

「越前町役場（子ども未来課等）」が 37.5%で最も高く、次いで「児童相談所虐待対応ダイヤル（189）」が 36.4%、「知らない」が 29.6%となっている。



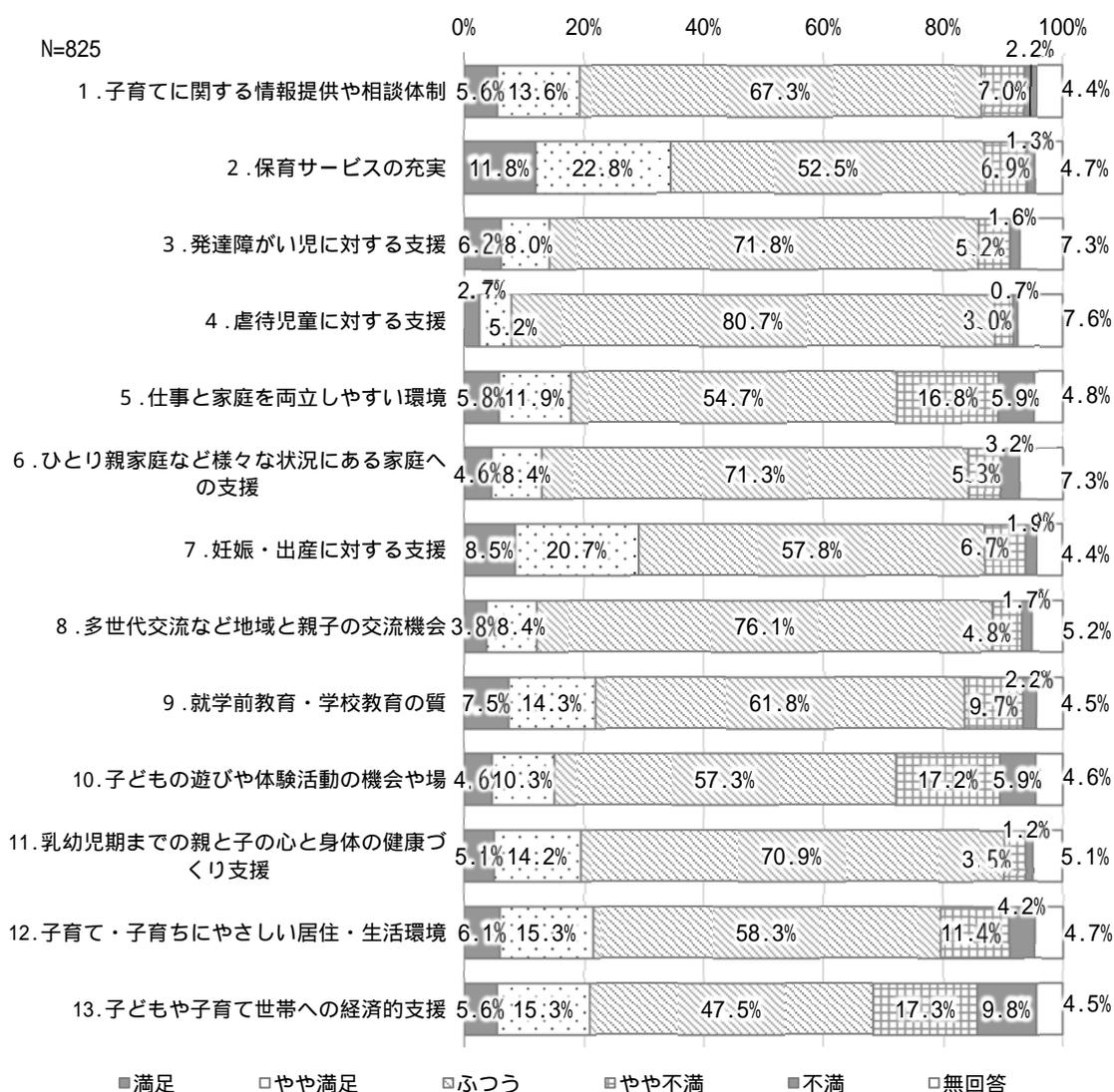
2 - 8 子どもの施策について

問 28：越前町が子どもを育てやすい環境であるかについて

越前町が子どもを育てやすい環境だと思うか、満足度を尋ねた。

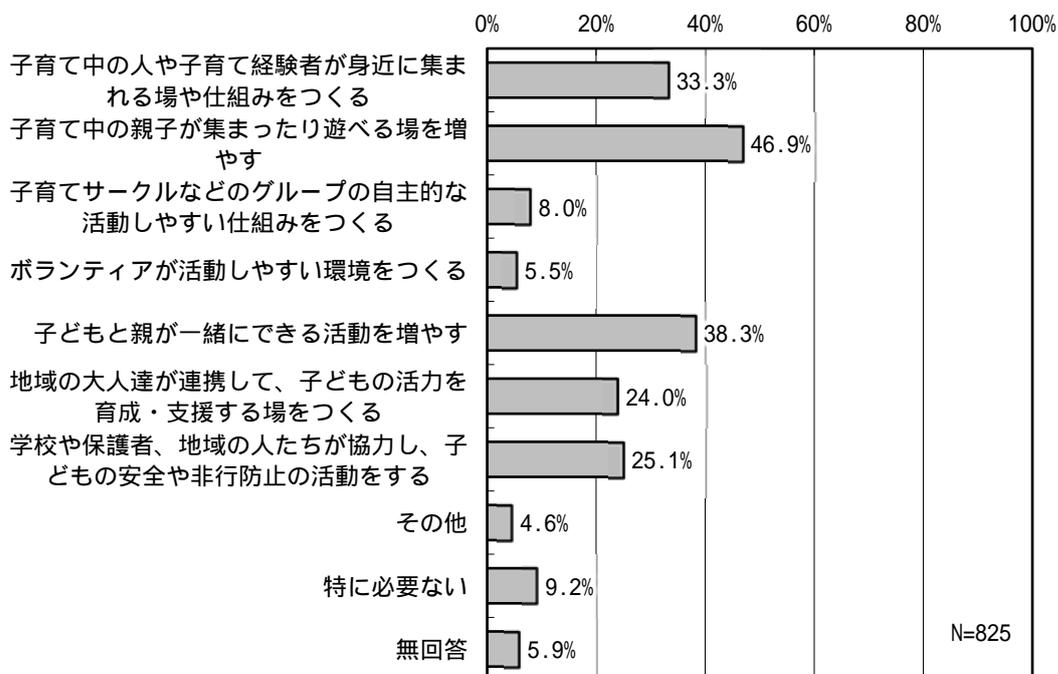
満足度（『満足』と『やや満足』の合計）は、「保育サービスの充実」で34.6%と最も高く、次いで「妊娠・出産に対する支援」が29.2%となっている。

不満度（『不満』と『やや不満』の合計）は、「子どもや子育て世帯への経済的支援」が27.1%と最も高く、次いで「子どもの遊びや体験活動の機会や場」が23.1%となっている。



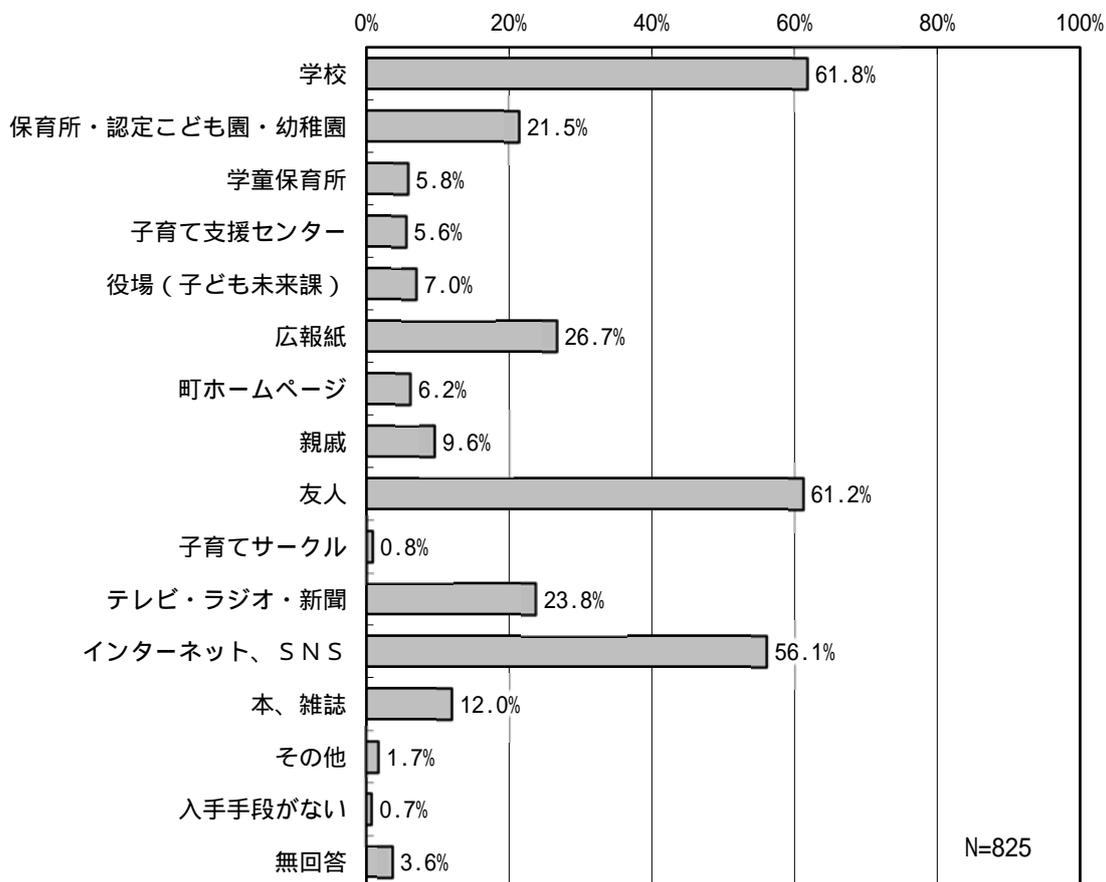
問 29：安心して子どもを産み育てるための地域での取り組みについて（3つまで）

「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が46.9%で最も高く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が38.3%、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる」が33.3%となっている。



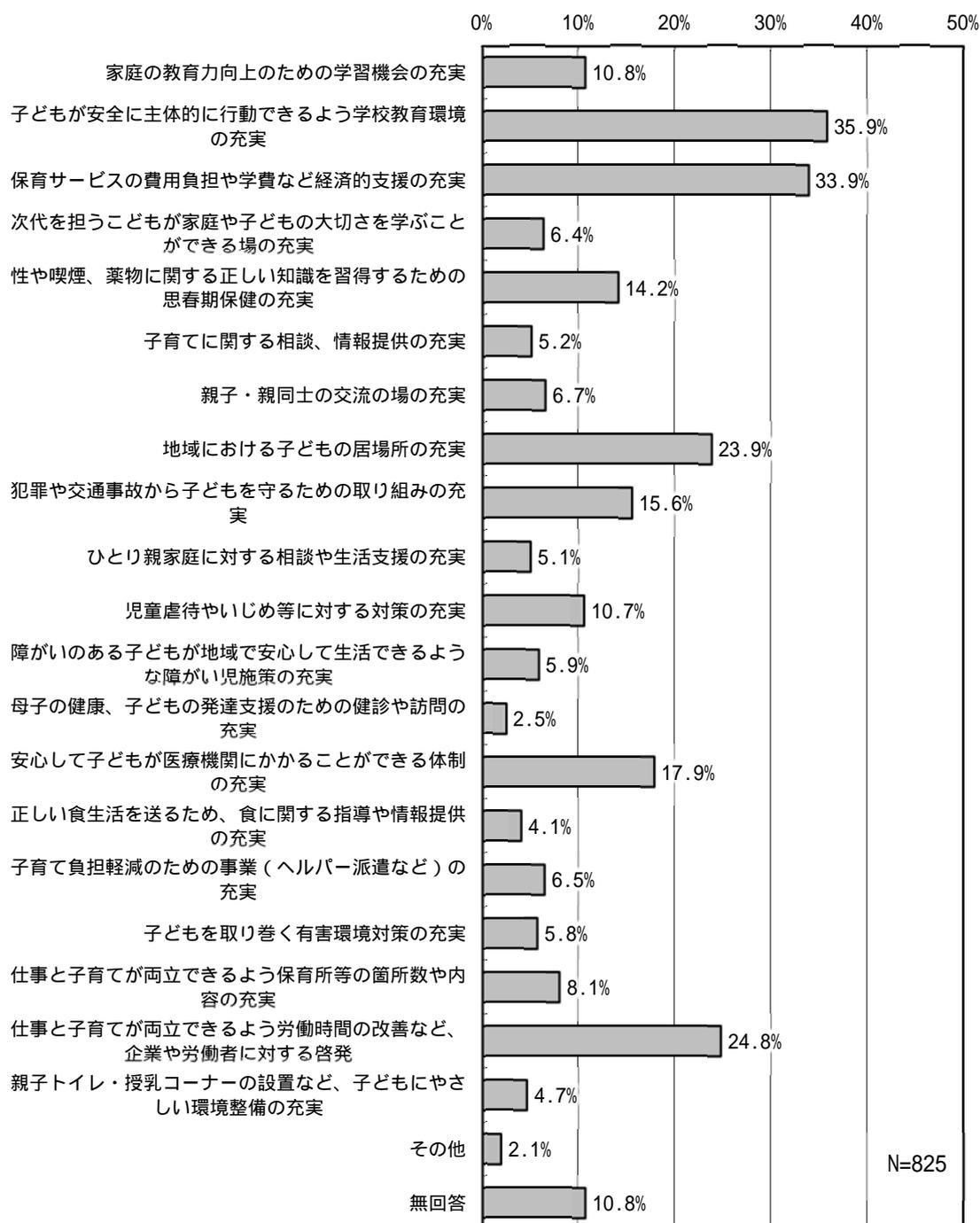
問 30：子育てに関する情報の入手先（複数回答）

「学校」が61.8%で最も高く、次いで「友人」が61.2%、「インターネット、SNS」が56.1%となっている。



問 31：越前町の子育て支援施策への期待・重要（3つまで）

「子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実」が 35.9%で最も高く、次いで「保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」33.9%、「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」24.8%となっている。



教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関する意見（自由意見）

（１）子どもたちの遊び場・居場所について（４２件）

- 親子でも小学校高学年でも、放課後や休日、雨天、冬季に安心して遊べる場を求める意見が多くなっている。
 - ・全天候型であれば尚いいが、そうでなくともたくさんの子供達、親子、お年寄りも楽しめる公園があるといい。（だるまちゃん広場的な）
 - ・小学生の高学年が遊べる場所がない。コミュニティセンターの体育館の開放などして天気の悪い日でも子供が安心して元気に体を動かして遊べる場所の提供を望みます。
- 中高生を含む子どもの交流・学習の場として体育館やコミュニティセンターなど既存施設の開放を望む意見も多くなっている。
 - ・中学(高校)になった時、受験勉強に対応できる学習塾がないので不安です。日曜、祝日にお友達と遊べる場として、コミセンの空スペースを憩いの場として活用するのはいかがでしょうか。
 - ・公園等が少ないことや冬場の天気の悪い時期など体育館の解放や特別な物をたてなくても今ある物を使えたらいいと思います。将来子どもと関わる仕事を希望の学生さんとボランティア等の形で児童館での学習支援、交流などできるといいと思います。
- 公園の整備を望む意見も多く、特に安全に遊べる遊具を増やす意見もある。
 - ・安全に遊べる遊具のある公園がもっと増えて欲しい。
 - ・子供達が安心して遊ぶ事のできる公園などが少ない。すべり台やジャングルジム、昔はあったスライダーやアスレチックなど、今は危険と判断されているのか、ほとんど存在していないのが残念です。子供の体力作りのため、もっと外で遊ぶ事のできる場を提供してほしいです。

（２）学校教育について（１７件）

- 学力向上とともに、多様な体験活動や文化活動の充実、いじめに関する教育、メディア教育を求める意見がある。
 - ・学力ばかり追求するのではなく、個人の才能を引き出す教育現場にしてほしい。クラシックだけが音楽ではなく、Jazz、ブラックコンテンポラリー、色々な音楽を耳にして芸術も同じ。私自身の反省として、もっと小学校の頃から世界の音楽とか色々聞きたかったと思う。色々なことを体験して興味があったことに突き進む様なことがあればいい。勉強だけではない。秘められた子供の個性を引き出す環境を作ってほしい。これからの教育の現場はテストの点数ではない。勉強が苦手でも絵が上手だったり、色々才能があると思います。子供たちに大きな刺激を与えて下さい。
 - ・いじめについて、未然に防ぐための教育を子ども、保護者共学ぶ機会を得たい。他人事ととらえない認識を持てるように、効果のある手段で学ぶにはどうするとよいでしょうか。
 - ・メディアの上手な使い方、性についての授業をもっと増やしてほしい。
- 町内で学習塾やスポーツなどの習い事ができない不満を訴える意見がみられる。
 - ・習い事をさせたいと思っても送迎が必要なものばかりで仕事があるので連れていけない。近場で行けるものがなくて困っている。
 - ・越前町内には、子どもが学習できる場が少ない。学習塾やスポーツなど習い事をするにも鯖江市や越前市、福井市へ連れて行かないとできない事が多く、色々な事を経験させ

てあげたくても、送迎の時間やガソリン代など、ロスが多く、不便。町内で経験できる場が増えると良いと思う。コミュニティセンターなどでもっと習い事を取り入れてもらえると良い。少子化が進むことで子育て世帯が町外に出て行ってしまう事がどんどん深刻化するので、町をあげて、思いきった経済支援や環境整備を早急に進めてもらいたい。

(3) 保育サービスについて(9件)

○特に病児保育の充実を求める意見が多くなっている。

- ・現在、病児保育をできる場所が非常に少ない。子供の体調が悪いけど、仕事にはいかなければならない状況をもっと少し改善できる施策があればお願いしたい。母親一人の負担が非常に大きいので、安心して休日でも預けられて、母親もリフレッシュできる施策や場所があるとありがたい。
- ・仕事と育児の両立が大変だなと思う。高熱などは仕事を休めるけれど、せき、鼻水はどうしても行かせるので、保育所以外で預かってくれるようなところがあるとすごくありがたい。無償もしくは1日500円ほどで預けることができるとうれしい。

○学童保育や一時預かりに関する意見もある。

- ・児童クラブの先生と町の子育て支援の考え方が違うのではないかと感じます。子育て支援と言いながら、利用は控えてほしいと言われてたり矛盾を感じます。以前は無料だったものが有料となったりしています。利用者を制限するものになっています。冬休み、春休みは実質1週間以下でも3月、4月、月またぎのため4000円×2ヶ月分の支払いが必要(長期休暇以外は児童館でも3、4月は児童クラブとなるため)。利用する子供が多いなら施設を増やすことやスタッフの補充も検討する方が利用しやすくなると思います。

(4) 経済的支援について(34件)

○ひとり親家庭への支援、高校通学時のバスの充実や支援を望む意見が多くなっている。

- ・母子家庭には、いろいろと出費が多く不安になります。
- ・出費が多く一人親には負担が大きい。
- ・通学代の補助ですが、以前は6万円超過分は補助が全額ありましたが、だんだん負担額が増えてます。丹生高に通うと全額補助があり、不公平に思います。子供が夢の為に町外の高校に時間をかけて通学しているのに、「丹生高に入学しないから補助は減らすよ」なんてひどいなと思います。通学費用が払えないから子供が行きたい高校に行かせてやれないという家庭も出てくるんじゃないでしょうか。補助は平等にして欲しいです。

○学校で使用する靴や服の負担への支援や習い事に対する支援、15歳以上の子どもへの支援を求める意見もみられる。

- ・制服や体操服、内ズック等、すぐに小さくなり兄弟もいるので、価格も安くないので、非常に負担が大きいです。使わなくなった体操服等を預け、ストックし必要な人が使えるような取組、体操服バンクのような存在があれば、環境にも優しく子育てにも優しいのではないのでしょうか。
- ・15歳以上だったり18歳以上だったり、この頃の歳が1番お金がかかるのでそこら辺をもっと手厚くしてもらいたい。子供なのに18歳で働くと生計が一緒に見られる。手当てが当たらないとか。

(5) 越前町のまちづくりについて (9 件)

○少子化対策や移住者の増加のために、学校と家庭、地域等が協力した子育てしやすいまちづくり、経済的支援、国際交流など特色ある教育等を進めることを提案する意見がある。

- ・越前町の自然や国際交流事業などより活用し、町外、県外(国外)から教育(子育て)移住者が増えるような町になることを期待。子育て重視の町になってほしい。プレーパークやこども夢パーク、他県に様々なようなオルタナティブスクールなど、子どもの居場所、学びの場が町内にできると良い(公園の整備や廃校(予定)(坂井市の『ちくちくぼんぼん』や『あそぼっさ』等)の活用)。学校と居場所、家庭、地域が互いに協力連携しあって子育て、町づくりをしていけると良い。従来にこだわるのではなく、新しいことやマイノリティにも柔軟になってほしい。

(6) その他 (25 件)

○防犯の強化や小児医療体制の充実、相談・情報発信の充実に関する意見がある。

- ・街灯が少ないので、中学生の子が帰宅する時にすごく危険です。街灯を増やして下さい。
- ・子どもが診てもらえる病院がない。鯖江まで出なくてはならない。
- ・近くに小児科や耳鼻科、眼科がなくて不便に思う。子どもを受診させたい時、鯖江まで出なくてはいけない。
- ・県外から稼いで来た身としては疎外感が当初はすごくあり、子育てに関してどこに相談して良いのか分からない事がよくあった。子どもの健診でお会いする保健師さんに助けられた事も多々あったが、もっと色々な人の意見も欲しいと思ったので、子育てに関しての交流の場や機会はもっと多くした方が良いのではと思う。経済的支援に関しては高校生に対しての支援があまりにも町外の人に手厚いのでどうにかしてほしい。自分の払った税金が自分の子ではない町外の子に多額に支払われるのだけは納得いかない。町内の高校生への定期代への補助はもっと手厚くしてほしい。

